



ジャズハーピスト古佐小基史さん

酒蔵カフェ
Sakagura Cafe
Hatsuyuki



直売店「蔵元」とカフェ「はつゆき」玄関



雰囲気もサイコー 酒蔵カフェはつゆき



昔ながらの手造り 初雪盃

しづみちゃんのお楽しみ日記(42)

「酒蔵カフェはつゆき」の巻



十一月五日(土)砥部の酒蔵カフェ「はつゆき」で坊ちゃん劇場と坂村真民記念館のコラボ「えひめ家族V.O.L.」が催されました。

「はつゆき」と言ってもご存知ない方が多いと思いますが砥部焼伝統産業会館坂村真民記念館、とべむかしのくらし館等がある砥部町観光メインゾーンにあります。

週末の金・土・日・祝日の十一時から十五時三十分までの営業ですが酒蔵のチーズケーキやバームクーヘン、自家製のノンアルの甘酒などが人気です。(手作りにこだわった銘酒・初雪盃の販売もしています)一度、お出かけになってみて下さい。

さて、今回のイベントは坊ちゃん劇場のアウトリーチ事業として企画されたもので第一部は坂村真民の代表的な詩である「念ずれば花ひらく」「尊いのは足の裏である」「わたしの詩」などがFM愛媛の森下加奈子アナウンサー等によって朗読されました。

そして、第二部は重松清作の「ヒア・カムズ・ザ・サン」で赤ん坊の頃に父親を交通事故で亡くした母子家庭の物語です。母がガンにかかって初めて母が「いる」「いない」の大きな差を感じるお話ですが……。

坊ちゃん劇場で「お遍路さんどうぞ」に出演している皆さんの朗読と古佐小基史さんの演奏のHarpが織り成す不思議な世界に、引き込まれて私はいつのまにか主人公になっていました。

古佐小さんは愛光高校から東大を卒業し、医師になられ、その後米国に渡りほとんど独学でハープを習得した特異な経歴の持主です。

当日も即興でその場の雰囲気に合わせての演奏に感動しました。

これからも我が町、砥部にいつまでも文化の灯がともし続けて欲しいと願っています。

中村 剛志

平成28年12月号